

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成29年7月13日
【四半期会計期間】	第28期第3四半期（自平成29年3月1日至平成29年5月31日）
【会社名】	株式会社サンヨーハウジング名古屋
【英訳名】	SANYO HOUSING NAGOYA CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮崎 宗市
【本店の所在の場所】	名古屋市瑞穂区妙音通三丁目31番地の1
【電話番号】	052 - 859 - 0034
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理本部長兼人事部長 大森 隆治
【最寄りの連絡場所】	名古屋市瑞穂区妙音通三丁目31番地の1
【電話番号】	052 - 859 - 0034
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理本部長兼人事部長 大森 隆治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 株式会社サンヨーハウジング名古屋 豊中支店 (大阪府豊中市岡上の町二丁目1番8号 とよなかハートパレット1F)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第3四半期連結 累計期間	第28期 第3四半期連結 累計期間	第27期
会計期間	自平成27年 9月1日 至平成28年 5月31日	自平成28年 9月1日 至平成29年 5月31日	自平成27年 9月1日 至平成28年 8月31日
売上高 (千円)	23,261,689	23,461,695	34,685,137
経常利益 (千円)	692,129	707,201	1,566,785
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	420,710	453,498	851,927
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	474,639	427,750	918,016
純資産額 (千円)	22,675,154	22,992,213	23,118,531
総資産額 (千円)	35,135,188	36,993,314	34,960,751
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.77	31.10	58.30
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	64.5	62.2	66.1

回次	第27期 第3四半期連結 会計期間	第28期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成28年 3月1日 至平成28年 5月31日	自平成29年 3月1日 至平成29年 5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.68	7.37

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

（戸建住宅事業）

第1四半期連結会計期間において五朋建設株式会社の全株式を取得し連結子会社といたしました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出と消費が原動力となり安定した景気拡大局面が続いています。企業部門においては、IT需要の拡大を背景とした世界経済の回復が牽引役となり、企業の生産活動、企業収益、設備投資とも底堅さを維持しています。一方、個人消費においては、雇用情勢の改善、消費者マインドの持ち直しが続くものの、賃金の伸び悩み、社会保険料の負担増加が可処分所得の重石となっており、依然として力強さに欠ける状態となっています。

こうした中、『家を、土地からオーダーメイドする。』当社グループの中核である戸建住宅事業では、「地域密着型営業」「コミュニケーションとコンサルティングを重視した営業」により、お客様のニーズを的確に把握し、良質な土地に「住む人本位」の自由設計による快適な住まいをご提案することで、受注の拡大を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は234億61百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は5億54百万円（前年同期比0.8%増）、経常利益は7億7百万円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億53百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （戸建住宅事業）

戸建住宅事業は、オーダーメイド住宅、戸建住宅の施工・販売を行っており、中でもオーダーメイド住宅は、良質な土地にお客様のニーズに合った建物を自由設計で提供するもので、お客様の満足度も高く、当社グループの中核を占めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は178億79百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は2億92百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

#### （マンション事業）

マンション事業は、連結子会社においてマンションの企画・販売を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は15億10百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は1億34百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

#### （一般請負工事業）

一般請負工事業は、連結子会社において、建築工事、土木工事及び管工事などの請負を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は39億37百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は80百万円（前年同期比223.0%増）となりました。

#### （その他の事業）

その他の事業は、お客様に「住まい」を提供する過程で必要となる不動産仲介、測量などを行う事業であります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1億33百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は38百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

## 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,884,300	14,884,300	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	(注)
計	14,884,300	14,884,300		

(注) 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年3月1日～ 平成29年5月31日		14,884,300		3,732,673		2,898,621

## (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成29年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 303,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,578,500	145,785	
単元未満株式	普通株式 2,300		
発行済株式総数	14,884,300		
総株主の議決権		145,785	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が500株(議決権の数5個)含まれております。

2 「単元未満株式」の株式数には、当社所有の自己株式が54株含まれております。

## 【自己株式等】

平成29年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
株式会社サンヨー ハウジング名古屋	名古屋市瑞穂区妙音通 三丁目31番地の1	303,500		303,500	2.03
計		303,500		303,500	2.03

(注) 1 上記のほか、当社所有の単元未満株式54株があります。

2 平成29年5月31日現在の自己株式数は、303,554株(うち単元未満株式は54株)であります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づき作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年3月1日から平成29年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年9月1日から平成29年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、誠栄監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	12,432,074	11,456,325
受取手形・完成工事未収入金等	1,213,699	1,218,018
販売用不動産	1,590,346	1,964,199
開発事業等支出金	14,112,250	15,184,043
未成工事支出金	1,100,851	2,468,297
材料貯蔵品	9,975	7,591
その他	586,038	605,117
貸倒引当金	326	326
流動資産合計	31,044,910	32,903,266
固定資産		
有形固定資産	2,558,971	2,693,031
無形固定資産	158,441	201,430
投資その他の資産		
投資有価証券	889,997	858,479
その他	311,430	337,105
貸倒引当金	3,000	-
投資その他の資産合計	1,198,428	1,195,585
固定資産合計	3,915,841	4,090,048
資産合計	34,960,751	36,993,314
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,841,637	2,716,238
短期借入金	5,146,000	6,797,750
1年内返済予定の長期借入金	427,000	313,228
未払法人税等	277,933	67,260
未成工事受入金	999,834	1,303,888
賞与引当金	112,893	170,938
完成工事補償引当金	19,736	20,888
その他	864,937	722,686
流動負債合計	10,689,972	12,112,878
固定負債		
長期借入金	180,000	814,496
役員退職慰労引当金	434,387	497,536
退職給付に係る負債	185,463	219,571
その他	352,395	356,618
固定負債合計	1,152,246	1,888,222
負債合計	11,842,219	14,001,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,732,673	3,732,673
資本剰余金	2,984,589	2,984,589
利益剰余金	16,637,245	16,536,675
自己株式	346,800	346,800
株主資本合計	23,007,707	22,907,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,824	85,076
その他の包括利益累計額合計	110,824	85,076
純資産合計	23,118,531	22,992,213
負債純資産合計	34,960,751	36,993,314

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	23,261,689	23,461,695
売上原価	19,532,747	19,621,047
売上総利益	3,728,941	3,840,647
販売費及び一般管理費	3,179,280	3,286,423
営業利益	549,661	554,224
営業外収益		
受取利息	7,260	5,154
受取配当金	2,078	2,330
受取事務手数料	27,826	26,669
契約解約金	5,650	-
不動産取得税還付金	57,383	69,895
安全協力費	31,907	31,003
その他	53,356	66,987
営業外収益合計	185,462	202,039
営業外費用		
支払利息	34,590	35,845
その他	8,403	13,217
営業外費用合計	42,994	49,063
経常利益	692,129	707,201
特別利益		
固定資産売却益	1,731	496
その他	262	-
特別利益合計	1,994	496
特別損失		
固定資産除却損	2,581	2,490
契約解約金返金額	36,900	-
その他	44	-
特別損失合計	39,526	2,490
税金等調整前四半期純利益	654,597	705,207
法人税等	233,886	251,709
四半期純利益	420,710	453,498
親会社株主に帰属する四半期純利益	420,710	453,498

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	420,710	453,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,928	25,748
その他の包括利益合計	53,928	25,748
四半期包括利益	474,639	427,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,639	427,750
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

平成28年9月1日付で五朋建設株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

住宅建設者に対する金融機関の融資について、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
住宅建設者	2,763,274千円	658,098千円

なお、この保証は、住宅建設者に対する融資が実行され、抵当権設定登記完了までの間の連帯保証債務であります。

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

当社グループの戸建住宅事業は、顧客への引渡し第2四半期及び第4四半期に集中する傾向があります。そのため、売上高に季節的変動が見られ、第2四半期及び第4四半期に高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
減価償却費	131,604千円	131,899千円
のれんの償却額	7,791千円	18,515千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年10月29日 取締役会	普通株式	281,540	19	平成27年8月31日	平成27年11月11日	利益剰余金
平成28年4月14日 取締役会	普通株式	277,034	19	平成28年2月29日	平成28年5月20日	利益剰余金

- (2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

## 2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成27年10月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式237,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間に自己株式が299,956千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式残高は346,800千円となっております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成27年10月26日をもって終了しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

## 1 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年10月27日 取締役会	普通株式	277,034	19	平成28年8月31日	平成28年11月14日	利益剰余金
平成29年4月14日 取締役会	普通株式	277,034	19	平成29年2月28日	平成29年5月19日	利益剰余金

- (2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

## 2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	戸建住宅 事業	マンション 事業	一般請負 工事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,588,341	1,730,464	3,817,514	23,136,321	125,368	23,261,689	-	23,261,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	1,214,595	1,214,595	5,738	1,220,334	1,220,334	-
計	17,588,341	1,730,464	5,032,110	24,350,917	131,106	24,482,023	1,220,334	23,261,689
セグメント利益	313,623	161,564	24,858	500,047	34,074	534,121	15,539	549,661

- (注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、測量等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額15,539千円には、セグメント間取引消去11,254千円、棚卸資産等の調整額4,285千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	戸建住宅 事業	マンション 事業	一般請負 工事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,879,897	1,510,813	3,937,420	23,328,130	133,564	23,461,695	-	23,461,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	973,776	973,776	7,888	981,664	981,664	-
計	17,879,897	1,510,813	4,911,196	24,301,907	141,452	24,443,359	981,664	23,461,695
セグメント利益	292,075	134,696	80,284	507,055	38,452	545,508	8,715	554,224

- (注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、測量等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額8,715千円には、セグメント間取引消去6,886千円、棚卸資産等の調整額1,828千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	28円77銭	31円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	420,710	453,498
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 金額(千円)	420,710	453,498
普通株式の期中平均株式数(株)	14,624,132	14,580,746

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

## (剰余金の配当)

当社は、平成29年4月14日開催の取締役会において、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	277,034千円
1株当たり配当額	19円
基準日	平成29年2月28日
効力発生日	平成29年5月19日

(注) 平成29年2月28日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年7月13日

株式会社サンヨーハウジング名古屋

取締役会 御中

誠栄監査法人

代表社員 公認会計士 荒川 紳示 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 古川 利成 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンヨーハウジング名古屋の平成28年9月1日から平成29年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年3月1日から平成29年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年9月1日から平成29年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンヨーハウジング名古屋及び連結子会社の平成29年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。